

特集

人材確保のコツとは？

SNSを通じて求める人材を明らかにし、 よりよい人材発掘に尽力！

一般社団法人 サンビスカス沖縄

クラブ運営に関わる人材の確保は、多くのクラブで課題となっています。サンビスカス沖縄の場合、2014年3月頃からソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を通じて広く人材募集の告知を行い、よりよい人材確保に尽力してきました。そこでこれまで行ってきたサンビスカス沖縄の取り組みを紹介します。

🔑 キーポイント

- ◎SNSの利用
- ◎メリットもデメリットも掲示
- ◎インターンシップの受け入れ
- ◎クラブ運営に必要な知識を配信

1 | クラブ概要

サンビスカス沖縄の設立者である宮城兄弟がブラジルに行った際に、とある地域のスポーツクラブと出会いました。そこには大きな競技場から小さなテニスコート、多目的広場、公園、フットサルコートなど数々の施設が並んでいて、小さな子どもから高齢の方までスポーツを通して生き生きと活動をしていました。クラブハウスのレストランでは、プロの選手とファンの子どもたちが一緒にご飯を食べたり、高齢者同士のコミュニティが存在していたり、育成世代の未来のプロ選手たちがたくさんいたり、「すべての人が関わり合い、すべての人が応援し合う。まさに、スポーツで街が一つになっている」——そんな感覚を覚えました。

そういったスポーツクラブを目の当たりにした宮城兄弟は、「こんなクラブを沖縄にもつくりたい！」と思い、設立に至ります。そして、当時の思いそのままに、「スポーツで街を元気に！」というクラブ理念のもと、「いつでも」「どこでも」「誰とでも」気軽にスポーツができる環境づくりをする、そんなクラブをめざし活動しています。

2 | SNSを駆使してスタッフ募集の告知

人材確保のためにまず行ったのは、ウェブサイトでの募集でした。「スタッフ募集!」というバナーを設置し、SNS (FacebookやTwitter) でどんどん告知をしました。

そして、ウェブサイトのスタッフ募集ページに代表者からのメッセージとして、仕事内容や募集概要に加え、会社に入ることのでられるメリット(自分の好きなことに没頭できる、やりたいことに挑戦するなど)を掲示しました。さらに、デメリット(将来の安定は確約できない、自己責任の文化、週末によく仕事があるなど)も過剰な期待を防ぐためにもあえて正直に書きました。それにより、私たちが求める人材を明らかにすることで、応募数は減ったかもしれませんが、しかし、よりよい人材が来るようになりました。



3 | 問い合わせが増え、インターンシップ受け入れも実施

SNSやウェブサイト以外にも、ホームページを見た大学生や専門学校の学生からクラブにインターンシップについても問い合わせがあり、インターンシップの受け入れを行いました。その後も、学生や専門学校などの学生課からの問い合わせを受けるようになり、インターンシップの受け入れを積極的に行うようにしています。インターンシップの受け入れは、大学や専門学校からも大変喜ばれており、クラブとしても、インターンシップ生が未来のスタッフとして関わることで、波及効果を得ることができました。実際に過去のインターンシップ生からスタッフになった学生もいます。

4 | メリット、デメリットを掲示することが大事

よい人材を確保するためには、やはり、「どんな人材を求めているのか?」をきちんと掲示する必要があります。過剰な期待や、理想の姿ばかりではなく、会社のメリットやデメリットも含め、それでもクラブの魅力を感じる人材であれば、自ら申し込んでくるはず。それがよい人材を確保するために最も大切なことだと思います。

とはいえ、ウェブサイトにスタッフ募集を掲示するには時間がかかりました。ページ構成のほかに、全スタッフのインタビューを記事形式で表示するため、時間をかけて取材もしました。その結果、現場スタッフの生の声を掲載することでより仕事内容がリアルに描写できるため、時間をかけた分、反応はすごくよかったです。

5 | さまざまな面から発信し、即戦力となる人材発掘を!

今後も、このような人材を確保していきたいと思っています。そのために、クラブ運営に必要なマーケティングの知識、マネジメントの知識を学ぶためのメルマガを配信しています。すでに登録数は500近くになりました。こういったスポーツビジネスに関する知識人をどんどん発掘し、より即戦力になる人材確保をするためにさまざまな面から発信していきたいと思っています。

●スポーツマーケティング、マネジメントを無料で学べる

スポーツプレナーシップURL→ <http://sunbeliefokinawa/sportskigyuu/>



スタッフの声

●サンビスカス沖縄理事／大城充幹さん



今の仕事は？ どんな仕事をしていますか？

「現場指導が中心になっていますが、保育園や幼稚園の体育指導だったり、クラブのサッカースクールのコーチとして活動しています。ほかにも地域から委託された事業等で、いろいろな場所でスポーツ指導をするのが主な活動です。また、最近では全体の指導者の管理や外部団体との調整役、大会やイベントの企画リーダーを任されたりしています」



なぜこの仕事を選んだのですか？

「実は、ずっとサッカーをやっていて、とにかくサッカーに関わっていきたいと思っていました。学生時代も仲間に恵まれ、県大会で優勝したりと、サッカーが僕にいろいろと夢を与えてくれたのです。でも、高校を卒業して、サッカーから少しずつ離れていく中で『本当にこれでよいのか？』と、ずっと考えていましたね。そんな中で、サンビスカスが設立当初ということもあって『ここで自分を試したい』と、その時は直感的に動いた次第です」



サンビスカス沖縄の活動を支えているスタッフの皆さん



サンビスカスに入社したい人へメッセージを！

「好きなことしかやってこなかった僕が、サンビスカスに関わるようになって本当に大きく成長することができました。もちろん、まだまだこれからです。さらに自分自身も成長していきたいと思っていますし、そういった環境に身を起しながら過ごす日々は本当に充実しています。やった分だけ成果が出て、その分たくさんの人たちに感謝されたりもします。そんな人たちを僕らと一緒に幸せにしたいと思っている方が、サンビスカスに来てくれたらうれしいですね」

(サンビスカス沖縄クラブマネージャー／宮城奈津子)

クラブプロフィール

- 設立年月日：平成21年3月21日(平成27年1月9日法人化)
- 所在地：沖縄県沖縄市
- 運営：有料会員数184名、無料会員数623名(平成27年11月現在)
予算規模1,500万円、委託金700万円(平成27年度見込み)
- 特徴：「スポーツで街を元気に！」をクラブ理念に、「いつでも」「どこでも」「誰でも」気軽にスポーツができる環境づくりをめざし、さまざまな事業を展開しています。また、海外トップ選手を誘致し、国内トップ選手を招いたイベントを毎年開催したり、活動は地域の枠を超え、国内外にまで展開しています。クラブを通して一人でも多くの方が夢を持ち、心身ともに元気になっていただけるよう、頑張っていきたいと思っています。

連絡先：〒904-2615 沖縄県沖縄市宮里3-39-21-701
TEL：098-989-4695 FAX：098-989-4696
Eメール：sunbi@sunbiscusokinawa.com
ホームページ：<http://www.sunbiscusokinawa.com>